

令和5年  
4月1日号  
広報  
No.715

# あきる野

今号の主な記事など

- 4年ぶりの再開「マールボロウ市」との国際交流事業…2面
- 特定不妊治療費の一部助成事業を開始…2面
- 公共交通実証実験期間を延長…3面

## 住み続けたい 住んでみたい マチをめざして

市では、地域や産業の担い手である生産年齢人口の減少に歯止めを掛け、未来を支える世代を増やし活力ある社会を築くため、移住・定住策に取り組みます。市民の皆さんには「住み続けたいマチ」、市外の方々からは「住んでみたいマチ」を目指します。

あきる野市の移住・定住は、都会に近く田舎暮らしができる場所「トカイナカ」、生産年齢人口で子育て世代の方も住みやすい「KOTOSUM（子と住む）」をコンセプトにしています。



子育て中の市民の皆さん（小机邸の古民家）

### 移住・定住相談窓口を設置

移住・定住に関するあらゆる分野の相談をワンストップで受け付けるため、移住・定住相談窓口を設置しました（市役所5階）。

市の魅力や暮らしの情報を積極的に発信するため、移住に関する情報を掲載するホームページ「東京あきる野移住情報サイト KOTOSUM」を開設しました。

KOTOSUM  
ホームページ



### 市民の皆さんへ

○ 知り合いの方が移住をお考えのときなどは、ぜひご紹介ください。

○ 市の公式Instagram「るのびと」では、市の魅力を発信しています。また、皆さんから投稿していただいた市の魅力ある写真や動画を、選考の上、市公式Instagram「るのびと」で紹介いたします。マチのお気に入りの場所や、皆さんだけのひそかな市の魅力などの情報発信への参加をお願いします。ハッシュタグ「#るのびと」を付けて投稿してください。

市公式  
Instagram  
「るのびと」案内



担当課 市長公室移住・定住担当  
(直通) 518・7151